

か

だ

れ

Vol. 6

2005年10月

かだれ：秋田の言葉に「かだれ、かだれ」と呼びかけるやさしい言葉があります。「仲間に入って共に語りましょう」という意味の言葉です。活動を通してあたたかなつながりをつくっていきましょう。

9月10日（土）、遊学舎においてNPO支援財団研究会の「シンポジウムin秋田」が開催されました。県内をはじめ、東北各県からボランティア・NPO活動に携わる約70名が参加し、講演会、パネルディスカッション、名刺交換会などが繰り広げられました。このシンポジウムは今まで、大都市圏に偏りがちだった民間助成団体の活動を、それ以外の地域にも広げたいという民間助成団体の意向で開かれたものです。

講演会では、地域アドバイザーの結城登美雄さんが、「一人ひとりが地域をより良くしていく当事者になることが大切なこと」と、話されました。その後のシンポジウムでは、「なんとしても活動資金を得よう、という熱意で助成金をいただきました」とか、「どうして、うちの団体は採択されなかったのでしょうか」、「どんな申請書を書けば、いいのですか」、「任意団体だが、申請できますか」など、様々な意見や質問が出されました。

パネリストでトヨタ財団地域社会プログラム選考委員長の姜尚中（かんさんじゅん）さんは「持続可能な地域社会にしていくために、各活動団体が社会に開かれて、他の活動をしている団体と横につながり、知恵を共有していくことが地域を活性化させていく」と話されました。

来年度に向けて助成金の公募が増える時期です。活動計画を練り、目的に合った助成団体を探して、一度ためでもあきらめず、助成金獲得を目指しましょう。今月号は助成金情報を満載しました。



Information  
Palette

# パレット

## フォーラム・講座・セミナーなど

10/16(日)

### 環八郎湖・流域の未来フォーラムPart5

～第22回八郎湖の水を考える集い～

八郎湖周辺で活動している小学校の研究発表、流域の未来に向けたフォーラム、自然再生への意見交換を行い、八郎湖のこれからを考えます。

日 時：10/16(日) 10:00～17:30

場 所：潟上市飯田川公民館多目的ホール  
TEL.018-877-6744

問合せ先：秋田地域振興局 TEL.018-860-3319

10/22(土)

### NPOマネジメント講座

日々の活動の悩みや課題に効果的なノウハウや解決法を学び、ステップアップを目指しましょう。全7回講座の第2回目、第3回目です。

開 催 日：10/22(土)

時間と内容：第2回10:00～12:00

「サポートセンターを活用！PR大作戦」

第3回13:30～15:30

「団体の宝！ボランティアマネジメント」

場 所：仙台市市民活動サポートセンター

参 加 費：各回500円

定 員：20名(先着)

申込・問合せ先：仙台市市民活動サポートセンター

TEL.022-212-3010

URL:<http://www.sapo-sen.jp>

10/22(土)

### 講演会「女性が世界で活躍するために」

女性が世界の新たな未来を切り開くために何をなすべきかを、ともに考えましょう。

日 時：10/22(土)13:30～15:00

場 所：アトリオン7F ハーモニーホール研修室

講 師：青木怜子さん(聖心女子大名誉教授)

参加費：無料

問合せ先：大学婦人協会秋田支部

tel.018-823-8425(湊)

10/29(土)

### 第7回子どもの自立を考える集い

不登校や引きこもり気味の子どもたちを、どのように支えるのが望ましいのでしょうか。話を聞きたいだけの人も、問題をかかえて悩んでいる人も自由に参加してください。途中入退場できます。

日 時：10/29(土)13:00～17:00

場 所：ジョイナス(秋田県民会館隣)

内 容：1部「新聞の切り抜き・社会的な支援について」  
2部「これまでのこと・共に生きてきたから」  
3部「これからのこと・  
何もしないで見てられない」

申 込：不要

問合せ先：NPO法人 不登校を考える親の会あきた

TEL.018-868-3854

11/5(土)

### 第15回秋田市しあわせ実感男女フォーラム

すべての人がお互いの個性や人権を認め合いながら、共に生きていくためのフォーラムです

日 時：11/5(土)12:50～20:30

場 所：秋田県児童会館子ども劇場

内 容：第1部 映画上映「阿弥陀堂だより」12:50～  
第2部 瀬地山 角さんの講演 15:30～ など

参加費：無料、整理券が必要(先着700名)

申込・問合せ先：秋田市役所

男女共生・次世代育成支援室

TEL.018-866-2141

11/6(日)

### 菜の花講演会「エネルギーも地産地消」

～資源の循環利用めざして～

日 時：11/6(日)13:00～15:30

場 所：エニワン(金浦町勢至公園内)

講 師：高橋米勝(岩手県)NPO紫波みらい研究所理  
事長/沼沢道也(山形県)金山新エネルギー実  
践研究会会長

問合せ先：オランの会(仁賀保バイオマス利用促進会)

TEL.0184-32-4071

11/6(日)

### 森林ボランティア体験交流会

森林整備の体験を通じて、森林ボランティアの育成と活動の促進を図り、交流を深めます。

日 時：11/6(日)

場 所：秋田県森林学習交流館(ブラザクリプトン)

内 容：枝打ち・除伐・間伐等

募集：50人程度  
募集締切：10/28(金)  
申込・問合せ先：秋田県森林学習交流館  
TEL.018-882-5009

申込・問合せ先：「新しい公共」を考える横浜会議デスク  
TEL.045-316-4602  
FAX.045-316-5701

## 11/7(月)～ 「新しい公共」を考える横浜会議

市民と自治体がともに手を取り合って「新しい公共」をつくる社会に変えていくため、企画・運営する2つのフォーラムを共同開催します。

日時と内容：

11/7(月) 13:00～19:30

オープニングセッション

身近な地域の課題から「新しい公共」を拓く～行政はどう変わるか、市民はどう変わるか～、他

11/8(火) 9:15～16:00

知事・市民セッション 市民とともに「新しい公共」をつくる、他

場 所：パシフィコ横浜 会議センター  
(横浜市みなとみらい1-1-1)

申込方法：申込書に必要な事項を記入の上FAXで。

申込書はホームページよりダウンロード可

URL:<http://www.city.yokohama.jp/me/shimin/tishin/>

申込締切：10/20(木)

参加費：お問合わせください。

## 11/9(水) 講演「元子供兵士の講演会ービルマ」

日 時：11/9(水) 18:30開演

場 所：ジョイナス3F (秋田県民会館隣)

会 費：500円(資料代)

問合せ先：アムネスティ・インターナショナル秋田グループ  
(国際人権擁護団体)

TEL.018-824-0302 (齊藤)

## 11/11(金) まちづくりフォーラム

ひとりひとりが生かされる街をめざして

日 時：11/11(金)13:30～16:00

パネルディスカッション

11/18(金)10:00～16:00 ワークショップ

場 所：秋田県南部市民活動サポートセンター

定 員：30名

参加費：1,000円(全2回)

主 催：NPO法人 秋田県南NPOセンター

申込・問合せ先：南部市民活動サポートセンター

TEL.0182-33-7002

## 燃える！若者たち

ボランティア活動に励む  
若者のリレーコラム⑥

「最初は友達と何か一緒にできた  
らいいな、という気持ちでした」

おかざき たいき  
岡崎 大輝さん



僕は「松原クリーンアップーズ」という団体に所属して、県立大学の近くにある出戸浜のゴミ拾いをしています。僕らのゴミ拾いは生き生きとしてとても賑やかです。土曜の朝、眠い目をこすりつつ学校に集合。台車、ゴミ袋、軍手を持ってわいわい話しながら海に移動し、終了時間を決めると適当に散らばって始めます。笑い声や大声が飛び交い、寝坊した奴らが謝りながら走って来たりします。ゴミ拾いが終わると集まって分別します。このときデータを取る事もあり、燃えるゴミを材質ごとに、紙やプラスチックなど七つに分けます。しかし楽しい事ばかりではなく、自分たちではどうしようもない事もあります。例えば最終目標をきれいな海としたとき、紙くず、缶ビンなどヒトの出すゴミをなくす事は可能です。しかし、台風により折れた木、打ち上げられた海草といった自然から出たゴミは決してなくなる事はなく、また壊れた冷蔵庫などの粗大ゴミ、漁業関係のゴミなどは処理する権限がないため、無視するか隅に固めて置いておく事しかできません。人間は自然に勝てないし、学生は社会的なチカラがありません。こういう事を考えると、己の無力感で少しへこんだりします。しかし学ぶ事も多く、市町村の管轄や権限、自然の作用や脅威など色々な事を意識するようになりました。今年は後輩の一年生もこの団体に加入してくれたので、一緒に頑張っていこうと思っています。

連絡先：TEL.090-2150-9144 (岡崎)

11/13(日)

## 簿記検定のための講習会

日商3級簿記検定、受験前の最終チェック。上級を意識した学習指導です。

日時：11/13(日) 9:30~17:00

場所：遊学舎・研修室

受講料：1,000円(資料代)

申込：FAXまたは、メールで。

申込締切：11/10(木)

申込・問合せ先：NPOキャリア・アップ・コンサルティング

TEL&FAX.018-863-1438

E-mail:cuc\_akita@yahoo.co.jp

## 応援してね!

秋田市下北手にある「秋田ワークセンター」は、作業能力を持ちながら身体に障害があるということで就職が困難な方が、本人の障害にマッチした作業や訓練を行い、社会活動に参加・自立することを目的に平成3年4月に設立されました。印刷や縫製などの作業を通して社会参加し、また地域の方々と交流しながら活動しています。平成16年4月から、身体障害者テイサービスも開設されました。利用者が描く絵手紙を世界中のお年寄りに送って、利用者も相手の方も喜び合えるような活動をしていきたいと思っています。



地区の体育祭で下北手小学校の生徒の皆さんと一緒に新秋田首頭を踊りました。

社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会  
身体障害者授産施設 秋田ワークセンター  
場所：秋田市下北手柳館字前田面134  
TEL.018-831-8010  
FAX.018-831-8009

## イベント

10/21(金)

## 2005チェチーリアコンサート

チェチーリア音楽研究会合唱団と合唱団チェチーリア・ジュニアの演奏会、指揮は羽川武さんです。

日時：10/21(金)18:00会場 18:30開演

場所：秋田テルサホール TEL.018-826-1800

入場料：無料

問合せ先：TEL.018-835-6355(羽川)

10/23(日)

## 読書フェスタ

読書に関する催し物がいっぱい！児童会館、県立図書館、生涯学習センターの3館連携イベントです。

日時：10/23(日)10:00~15:00

内容：10:00~15:00

読み聞かせグループの交流発表会(子ども劇場)

10:30~11:30

築山小学校児童によるおはなし会

(児童会館3F音楽室)

13:00~14:00

ワークショップ(児童会館 2F多目的ホール)

14:00~14:30

ポップコーンプレゼント(児童会館玄関前にて)

問合せ先：秋田県児童会館

TEL.018-865-1161(中嶋)

10/23(日)

## コミュニティビジネス公開オークション

地域の様々なニーズを、地域住民自らがビジネスの手法をもって解決する、コミュニティビジネス。起業に支援を求める起業家(資源要望者)とそれに賛同する地域の支援者(資源保持者)を結びます。

日時：10/23(日)13:00~16:00

場所：秋田拠点センター アルヴェ きらめき広場

主管：秋田県生活環境文化部

県民文化政策課地域活動支援室

問合せ先：NPO法人 あきたNPOコアセンター

TEL&FAX.018-862-5969

URL:<http://akitanpo-coa.jp/>

11/8(火)・9(水)

## ハーモニー・フェスティバル

アトリオンのハーモニープラザでは、利用団体やグループ間の交流を深め、学びの場となるようフェスティバルを開催します。パネルディスカッションのテーマは「ホンネで語ろう家庭と活動」。ワークショップもあ

ります。B1のイベント広場では野菜やお菓子の販売も  
します。

日 時：11/8(火)10:00~16:00  
11/9(水)10:00~16:00

場 所：アトリオンB1、6F、7F

問合せ先：秋田県中央男女共同参画センター  
財団法人 秋田県婦人会館  
TEL.836-7853(西村)

## 11/20(日) 親子のお楽しみ会

体を動かしたい人は大会議室、おやつを作りたい人は  
食工房に来てください。

日 時：11/20(日)10:00~12:00

場 所：遊学舎 大会議室・食工房

内 容：大会議室では「みんなが主役3B体操」、  
食工房では「クレープ作り講習会」

問合せ先：子育て・高齢者介護サポートばっけの会  
TEL.018-834-4733

## 11/20(日) 秋田県ハーモニカ祭

美しいハーモニカサウンドをお届けします

開催日：11/20(日)

場 所：秋田市文化会館小ホール

入場料：前売1,000円(当日1,200円)

問合せ先：秋田県ハーモニカ協会  
TEL.018-828-4407

## 募 集

### 人権ストーリー・コンテスト2005

新しい視点から描かれた、人権をテーマにした映像作  
品や啓発資料などの素材となるストーリーを募集しま  
す。今年度より「ジュニア部門」を新設しました。

テーマ：身近なことから考える人権

内 容：映像作品、冊子等の各種啓発媒体の素材とし  
て使用することを前提とした作品で、テーマ  
に沿ったストーリーであれば内容は自由。

応募規定：①一般部門は年齢制限なし、文字数6,000字  
~12,000字以内(日本語)

②ジュニア部門は18歳未満、800字~  
12,000字以内(日本語)

応募締切：11/18(金)必着

賞：①一般部門

最優秀賞1点 30万円/優秀賞1点 10万円など

②ジュニア部門

人権センター賞 1点 図書券 3万円分/

全国地方新聞社連合会賞1点 図書券 3万円分

問合せ先：財団法人 人権教育啓発推進センター  
「人権ストーリー・コンテスト2005」  
HP係 TEL.03-5777-1917  
URL:http://www.jinken.or.jp/

# 八郎湖でつながる そのら



八郎湖の干拓から半世紀、美しい八郎湖を取り戻そうと取り組  
んでいる、八郎湖流域10万人の知恵と行動の輪を紹介します。

## 馬場目川上流部にブナを植える会

今年も11月3日、五城目町馬場目沢の国有  
林アシノクラ沢で、「秋田・ブナを植えるつど  
い」を開催します。この活動は平成5年、八郎  
湖の水をなんとかきれいになりたい、という思  
いから始まりました。馬場目川は、五城目町  
と八郎瀧町を經由して八郎湖に注ぎます。そ  
の源流部に、保水機能の高いブナなどの広葉  
樹を植えることで、川の水量を回復させ、八  
郎湖の水質浄化を図ろうと取り組んでいます。  
会員は八郎湖の水を飲用、農業用に使してい  
る地域の住民を中心に1,000名ほど。春に  
は雪を払い、緩くなった根元を固め、夏と秋  
には下草刈り、重機やチェーンソーを使っ  
ての作業を地道に続けてきました。植えるつど  
いには、地域のボランティアに加え、首都圏  
など県外からのボランティアも参加します。  
ブナなどの広葉樹を植える活動は、八郎湖周  
辺地域の環境保全にとどまらず、地球温暖化  
や山崩れ防止にもつながっています。今年で  
13年目の活動に、どうぞ、ご参加ください。



馬場目川上流部にブナを植える会  
事務局長 阿部 淳 TEL.0185-45-2103

## 助成金

### 日本財団2006年度助成事業

対象事業：①海や船に関するもの（技術の研究開発、産業の基盤強化、情報の整備、安全確保、海上災害対策、理解促進等）  
②文化、教育、社会福祉等に関するもの（生涯スポーツ、芸術文化、子どもの健全育成、福祉拠点の充実、障害者の地域生活支援、のほか重点特定テーマとして、里山の保全、犯罪被害者支援、郷土の地域づくり、ホスピスケアの充実など）

応募対象：財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体など公益活動団体

実施期間：H18.4月～H19.3月

応募締切：10/31(月)

申請資料請求：ホームページかFAX.03-6229-5330で  
URL:<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

問合せ先：日本財団 TEL.03-6229-5111

### 日本財団 改修事業助成

高齢者や障害者の地域生活を支える拠点となるべき施設整備支援です。既存の建物や公共施設を借りたり、譲り受けて拠点とするための改修事業に対する助成です。

助成対象と金額：

財団法人、社団法人、社会福祉法人が、使われない公共施設、民家などを福祉施設としてリニューアルする事業に3,000万円まで（障害者グループホームは500万円まで）助成率は75%以内。NPO法人、任意団体は、既存の宅老所、小規模作業所を改修する事業に50万円まで。

申請方法：申請書を作成のうえ、下記まで送付のこと。申請書はホームページよりダウンロード可。

申請締切：10/31(月)

送付・問合せ先：

日本財団 公益・ボランティア支援グループ  
改修助成金係  
〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2  
URL:<http://portal.zaidan.info/>

### 独立行政法人 福祉医療機構 WAMから 4つの助成事業

助成対象：社会福祉法人、公益法人、NPO法人、任意団体で実施体制が整っている団体。

#### ○長寿社会福祉基金

対象事業：①在宅福祉事業等に従事するマンパワーの養成・研修  
②高齢者・障害者の日常生活環境の向上支援  
③認知症高齢者及び在宅で介護にあたっての家族支援  
④その他高齢者・障害者の在宅福祉事業等の支援

重点助成：③のうち、認知症高齢者を介護する家族の負担軽減に関する事業

助成金額：上限500万円

#### ○子育て支援基金

対象事業：①地域や家庭における子育て支援  
②青少年の非行防止・健全育成  
③非行等児童や家庭問題を巡る課題の調査  
④子育てや非行児童等に関する広報啓発活動  
⑤子育て家庭に対する支援

重点助成：①のうち、子育て支援のネットワークづくり ⑤のうち、児童虐待に関する活動支援

助成金額：上限500万円

#### ○障害者スポーツ支援基金

対象事業：①障害者スポーツの育成・強化  
②障害者の競技用具の研究開発・改良  
③障害者スポーツに対する意識高揚  
④スポーツを通じた障害者の社会参加の推進

重点助成：④のうち、新しい障害者スポーツの啓発・普及事業

助成金額：上限500万円

#### ○高齢者・障害者福祉基金

対象事業：①地域の福祉・介護のネットワークの形成  
②高齢者、障害者在宅福祉の推進  
③高齢者、障害者の社会参加促進  
④民間非営利団体等による地域の福祉・介護活動

重点助成：③のうち、障害者の自立生活・就労の支援

助成金額：上限500万円

応募締切：10/31(月)消印有効

募集要項：詳細はホームページで。

URL:<http://www.wam.go.jp/wam/>

問合せ先：独立行政法人 福祉医療機構

基金事業部 振興課 TEL.03-3438-9946

### 私的録音補償金 2006年度助成事業

音楽・芸能にかかわる創造活動及び創造環境の整備を目的とした活動に対する助成です。

応募資格：営利を目的としない公益法人、及び任意団体にあつては規約、会則等があり、意思の

決定及び会計処理のための組織を有しているもの。

助成対象：①音楽・芸能創造活動  
②音楽・芸能創造環境整備活動

活動期間：H18.4月～H19.3月

助成金額：総額2,000万円 1件あたり150万円以内

提出期限：11/15(火) 消印有効

申請手続：申請書に各種書類を添付して下記まで。

提出・問合せ先：

社団法人 私的録音補償金管理協会 事務局  
〒163-1411 東京都新宿区西新宿3-20-2  
東京オペラシティタワー11F  
TEL.03-5353-0336

助成金額：総額2,300万円 1件当たり上限30万円

応募締切：11/22(火)消印有効

応募方法：公募申込書3枚に必要事項を記入のうえ、添付書類1部を添えて事務局宛郵送のこと。申込書類はホームページよりダウンロード可

応募・問合せ先：

財団法人 キリン福祉財団事務局  
〒104-8288 東京都中央区新川2-10-1  
TEL.03-5540-3522  
URL:<http://www.kirin.co.jp/foundation>

## トヨタ財団 地域社会プログラム

地域社会の再構築を目指して、地域に生きる人々が暮らしの豊かさや安心を分かち合い、支え合う「共生」のネットワークに基づいた社会づくりが出来るよう支援します。

助成対象：①活動助成  
②成果普及助成 (a.活動記録の出版、b.広域ネットワーク)

助成金額：総額5,500万円

①活動助成 1件当たり上限200万円

②-a.活動記録の出版 1件当たり上限100万円

②-b.広域ネットワーク 1件当たり上限400万円

助成期間：H18.4/1より1年間

募集締切：11/21(月) 消印有効

応募用紙の申込：

助成の対象の別を明記の上、送料分の切手(1部・140円)を同封して、11/11(金)までに下記まで申込のこと。

応募用紙・問合せ先：

財団法人 トヨタ財団 地域社会プログラム係  
〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1  
新宿三井ビル37F 私書箱236号  
URL:<http://www.toyotafound.or.jp/>

## キリン福祉財団

地域における子育て支援ボランティア活動助成  
地域・子育て・ボランティア活動、がキーワードになる活動。

活動対象：母親、乳幼児、小中高生、障害児、超世代(世代間交流)等に対する活動。

対象団体：地域福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のグループ、法人格の有無は問いません。

実施期間：H18.4月～H19.3月(原則として単年度事業)

## 日本郵政公社 平成18年度年賀寄付金 社会貢献事業への助成金

今回から新たに対象となる福祉、人材育成、普及啓発、調査研究などの活動は、社会的ニーズが高く、新規性があり、事業計画が明確で実現性、社会的波及効果が高い事業であることが期待されます。

対象事業：①社会福祉の増進を目的とする事業

②風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業

③がん、結核、小児まひその他特殊な疾病の学術的研究、治療又は予防を行う事業

④原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業

⑤交通事故の発生若しくは水難に際しての人命の応急的な救助又は交通事故の発生若しくは水難の防止を行う事業

⑥文化財の保護を行う事業

⑦青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業

⑧健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業

⑨開発途上にある海外の地域からの留学生又は研修生の援護を行う事業

⑩地球環境の保全(本邦と本邦以外の地域にまたがって広範かつ大規模に生ずる環境の変化に係る環境の保全をいう。)を図るために行う事業

助成金額：上限500万円

申請締切：11/30(水)

問合せ先：日本郵政公社 郵便事業総本部

年賀寄付金事務局

TEL.03-3504-4401

URL:<http://www.post.japanpost.jp/kifu/>



# 助成金にチャレンジ!

助成金は欲しいけれど申請書を書くのが苦手、とため息をついている方のために、申請書の書き方のポイントを助成財団センターの堀内生太郎さんにお聞きしました。

1. 事業の内容は、簡潔に、わかりやすく、しかも心をこめて書く。そのためには、苦勞をしながら事業計画を練り、応募書類を作成するという心構えが必要です。
2. 書きたいことは山ほどあるが紙面は限られている。所定の欄に記載されていないとルール違反で対象外とみなされることも。所定の欄に細か過ぎない字の大きさに書きましょう。
3. 応募要領や選考基準、記載例を熟読しましょう。
4. 応募する内容が応募要領や選考基準に沿っているか、また、実行可能であるかを箇条書きに下書きしましょう。
5. そのうえで、文章をわかりやすくまとめ、表現を修正しながらスペースに合わせましょう。この作業は、仲間と共同であることをお勧めします。これは、事業内容について助成財団から照会を受けたとき、誰でも回答できると「ここは皆でまとまった活動をしている」と、好印象をあたえることになり、また、記載すべき要点をもれなくおさえることにもなります。

これらを踏まえて、助成金申請にチャレンジしていきましょう。

## かだれ編集部からの お知らせ

「かだれ」の誌面は、読者の皆さんから寄せられた情報で構成されます。あなたの団体でこれからやろうとしていること、それに向けて皆さんからのひとつ、一緒に活動していく仲間を募集したい、こんなことで困っているなどの情報を編集部宛にお寄せください。活動中の写真があれば、直接郵送するかメールに添付してお送りください。なお、誌面の関係上、掲載できない場合はご了承ください。

宛先 〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2  
遊学舎内「かだれ」編集部  
TEL.018-829-5804 FAX.018-829-5803  
e-mail:yutori-news@sirius.ocn.ne.jp

## 編集部だよ!

秋の匂いっていいですね。夕焼けに染まった夕暮れ時の匂い、さんまの焼ける匂い、夜中に本を開く匂い、ひんやりと冷たい朝の匂い…。そろそろ新米の炊ける匂いもたまたま始めます。あなたの秋はどんな匂いでしょう。どうぞ、いい秋をお過ごしください。(かず)

## ボランティア・NPO活動支援室

相談受付時間 火～土 10:00～18:00  
TEL:018-829-5805 FAX:018-829-5803  
E-mail:yutori-news@sirius.ocn.ne.jp

## 秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>

秋田県のボランティアや市民活動などに関する情報や話題をネットで皆さんのもとへお届けしています。登録していただくと、団体のプロフィールや目的、事業などをネット上で紹介することができます。ご希望の方には各地区のボランティア・NPO活動ニュースをお送りします。また、県北、中央、県南の名ボランティア・NPO活動ニュースのダウンロードもできます。



「かだれ」は毎月1回(但し、1月を除く)秋田県中央地区のボランティアやNPO活動を応援する情報誌として編集しています。県北版「Ndasuna(んだすな)」は大館市・北部市民活動サポートセンター、県南版「はんさん(Hot And New South Akita Npo)」は横手市・南部市民活動サポートセンターで編集しています。